



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6927 URL http://www.heliostec-hd.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齊藤 定一
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役統括管理部長 (氏名)川坂 陽一 (TEL)079(263)9500
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,832	△46.8	△201	—	△207	—	△275	—
29年3月期第1四半期	5,322	20.4	831	7.2	811	2.4	554	2.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △228百万円(—%) 29年3月期第1四半期 515百万円(△9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△15.24	—
29年3月期第1四半期	30.89	30.76

(注) 平成30年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	17,880	8,987	50.3
29年3月期	16,594	9,571	57.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 8,987百万円 29年3月期 9,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,000	20.4	800	△26.0	800	△22.4	500	△30.0	27.72
通期	21,900	27.9	1,800	29.8	1,700	23.6	1,200	4.8	66.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	22,806,900株	29年3月期	22,806,900株
30年3月期1Q	4,708,710株	29年3月期	4,768,710株
30年3月期1Q	18,069,179株	29年3月期1Q	17,968,190株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(業績予想について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要マーケットである液晶パネル用設備投資は、G8.5、G10用を中心に活発に推移しており、また今後も継続すると思われま。有機ELパネル用の設備投資も活発になっております。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、配向膜用フレキシ印刷装置及び露光装置用光源ユニット、また、有機ELパネル用を含む種々の用途に対してインクジェット精密印刷機等の売上が引き続き好調に推移しています。なお、前期に複数顧客より大量受注したインクジェット精密印刷機は、当期第2四半期に売上を計上する予定です。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの実績は計画通り、売上高は、前年同期と比べ24億89百万円(△46.8%)減収の28億32百万円となり、営業損失は2億1百万円(前年同期は営業利益8億31百万円)、経常損失は2億7百万円(前年同期は経常利益8億11百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億75百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億54百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。各金額についてはセグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

①ランプ事業

ランプ事業につきましては、露光装置用光源ユニットの売上が順調に伸びているため、紫外線ランプが増収、またLEDを含む一般照明用ランプは、ほぼ前期並みとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比10.6%増の7億82百万円、セグメント利益は、前年同期比273.9%増の19百万円となりました。

②製造装置事業

製造装置事業につきましては、大型FPDパネル用の配向膜製造装置の納入は計画通り完了しましたが、既設装置のメンテナンス及び改造では、大型案件の完了が第2四半期にずれました。更には、インクジェット精密印刷機の売上が第2四半期に予定されております。また、露光装置用光源ユニット装置は計画通り好調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比71.4%減の10億72百万円、セグメント損失は、1億62百万円(前年同期はセグメント利益8億86百万円)となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末現在の受注残高は、150億26百万円となっております。

③人材サービス事業

人材サービス事業につきましては、技術者派遣、設計請負及び製造派遣を行っております。技術者派遣、設計請負については、地域密着型の事業の為、スタッフの質的向上、顧客ニーズにあった対応を行い、営業強化を図り安定した業績で推移しました。製造派遣については、派遣者数の増加に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比14.2%増の9億90百万円、セグメント利益は、前年同期比14.1%増の53百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ12億48百万円増加し、150億79百万円となりました。その主な要因は、仕掛品が18億97百万円、前渡金が7億10百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が6億88百万円、受取手形及び売掛金が7億54百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ38百万円増加し、28億1百万円となりました。その主な要因は、土地が41百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億86百万円増加（7.8%増）し、178億80百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ15億2百万円増加し、80億75百万円となりました。その主な要因は、短期借入金が6億51百万円、前受金が8億71百万円それぞれ増加した一方、未払法人税等が1億95百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億67百万円増加し、8億17百万円となりました。その主な要因は、資金の調達により長期借入金が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ18億70百万円増加（26.6%増）し、88億93百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億84百万円減少し、89億87百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当3億60百万円を行った一方、親会社株主に帰属する四半期純損失が2億75百万円あったことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、主に上述の資産及び負債の増加を受け、前連結会計年度末に比べ7.4ポイント低下し、50.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,181,297	3,493,263
受取手形及び売掛金	5,295,829	4,541,338
商品及び製品	327,077	362,955
仕掛品	2,548,426	4,446,263
原材料及び貯蔵品	547,003	650,618
前渡金	229,597	940,002
その他	704,332	647,019
貸倒引当金	△2,613	△2,207
流動資産合計	13,830,950	15,079,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	723,951	746,390
土地	800,623	841,913
その他(純額)	540,473	536,549
有形固定資産合計	2,065,049	2,124,853
無形固定資産		
のれん	32,016	26,680
その他	81,345	78,297
無形固定資産合計	113,361	104,977
投資その他の資産		
その他	641,535	629,514
貸倒引当金	△56,754	△57,811
投資その他の資産合計	584,780	571,702
固定資産合計	2,763,191	2,801,533
資産合計	16,594,142	17,880,788

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,053,728	1,929,191
短期借入金	300,000	951,100
1年内返済予定の長期借入金	181,663	261,695
未払法人税等	241,480	46,386
賞与引当金	316,463	257,849
製品保証引当金	25,914	39,795
前受金	2,786,158	3,657,807
その他	667,623	932,070
流動負債合計	6,573,032	8,075,895
固定負債		
長期借入金	252,515	599,146
その他	197,211	218,539
固定負債合計	449,726	817,685
負債合計	7,022,758	8,893,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	5,919,007	5,276,261
自己株式	△1,194,133	△1,179,109
株主資本合計	9,421,918	8,794,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,645	193,011
その他の包括利益累計額合計	146,645	193,011
新株予約権	2,820	—
純資産合計	9,571,383	8,987,207
負債純資産合計	16,594,142	17,880,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,322,031	2,832,271
売上原価	3,747,392	2,149,560
売上総利益	1,574,639	682,711
販売費及び一般管理費	743,350	884,120
営業利益又は営業損失(△)	831,288	△201,408
営業外収益		
受取利息	23	13
受取配当金	8,032	7,658
業務受託手数料	600	—
雑収入	1,847	2,852
営業外収益合計	10,502	10,524
営業外費用		
支払利息	2,702	3,057
為替差損	26,578	13,158
雑損失	1,412	298
営業外費用合計	30,693	16,513
経常利益又は経常損失(△)	811,097	△207,398
特別損失		
固定資産除却損	128	—
固定資産売却損	7,868	—
特別損失合計	7,996	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	803,100	△207,398
法人税、住民税及び事業税	205,484	63,271
法人税等調整額	42,667	4,662
法人税等合計	248,152	67,933
四半期純利益又は四半期純損失(△)	554,948	△275,331
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	554,948	△275,331

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	554,948	△275,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,814	46,365
その他の包括利益合計	△39,814	46,365
四半期包括利益	515,133	△228,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515,133	△228,965
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	702,937	3,754,108	864,985	5,322,031	—	5,322,031
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,111	796	2,335	7,243	△7,243	—
計	707,049	3,754,904	867,321	5,329,274	△7,243	5,322,031
セグメント利益	5,272	886,034	46,794	938,101	△106,813	831,288

(注) 1 セグメント利益の調整額△106,813千円には、セグメント間取引消去3千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△106,816千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	人材 サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	773,203	1,072,584	986,482	2,832,271	—	2,832,271
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,946	224	3,639	12,810	△12,810	—
計	782,150	1,072,808	990,122	2,845,081	△12,810	2,832,271
セグメント利益又は損失(△)	19,715	△162,198	53,374	△89,108	△112,300	△201,408

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△112,300千円は、各報告セグメントに配分していない
 全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行って
 おります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「ランプ事業」及び「製造装置事業」の実態をよりの確に把握するため、両
 事業の測定方法を見直しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の方法により作成したものを記載して
 おります。